

教育総合センターでの 「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

〔開催概要〕

日時:平成27年9月3日(月)18:00~19:00

場所:教育総合センター

※ 平成27年度 第3回目

平成27年12月
鹿児島市 市民協働課

「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時:平成27年9月3日(月)18:00~19:00
場所:教育総合センター

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	鹿児島県生きがいきづくりアドバイザー協議会 男性	① 鹿児島県生きがいきづくりアドバイザー協議会では、中高年の健康づくりに取り組んでおり、「らくらく体操教室」を勤労青少年ホーム等で開いているが、受講生は60~70代が中心で、ほとんどが女性であり、今後は、男性にも参加してほしいと考えている。	① 鹿児島県生きがいきづくりアドバイザー協議会さんには、鹿児島市健康づくり推進市民会議の会員としてご協力いただき感謝申し上げます。本市では、平成25年から10年間の計画である「かごしま市民すこやかプラン」を策定し、子どもから高齢者まで全ての市民がともに支え合い、健やかで心豊かに暮らすことができるまちを目指し、市民が主体的に取り組む健康づくりを推進しています。皆さまの活動では、女性が積極的で、男性がなかなか参加されない現状があるということですが、広報紙等も通じて、健康づくりの取組についてもご紹介したり、広報していく必要があると思います。	健康福祉局	市長回答のとおり
		② 平均寿命も大切だが、健康寿命を伸ばすことはもっと重要だと考えている。そういうことから、退職した後に、健康づくりを始めるのではなく、勤めているうちから、運動を行うなど健康づくりに取り組むようになるよう、活動したいと考えている。	② 働く世代の健康づくりを推進していくためには、企業の皆さまにもこういった取組をご紹介していかなければならないと思います。生活習慣の改善や、メンタルヘルスの対策等について、各種広報紙等で掲載するほか、健康づくり推進市民会議の中でも、男性や働く世代の方に対しての取組を検討し、進めていく必要があると思います。	健康福祉局	市長回答のとおり
2	NPO法人きいれニコニコ若者クラブ 男性	③ きいれニコニコ若者クラブは、医師、薬剤師、理学療法士、ケアマネジャー、管理栄養士など専門職が集まったNPO法人で、現在、かごしま福祉研究会に名称変更の手続き中である。認知症ケアを重要な課題としてとらえている。現在、公民館や喜入の里等で専門職による無料の各種講座等を開催しているが、送迎に対応できる人数に限りがあり、移動手段に困っていることから、あいばすのルート、停車位置等の変更を要望したい。	③ 皆さんが医療、介護、福祉等の包括的なケアを地域で行っていることに、心から敬意を表したいと思います。 住み慣れた地域で、健やかに暮らすことが市民の皆さんの目標で、行政としても、そういう観点から、色々な対策をしているところでございます。 皆さんが地域で活動し、サービスを提供する上で、利用者の皆さんの利便性を高めるために、あいバスのルート変更等についてご提言をいただきました。 あいバスのルート変更については、現地調査や関係機関との協議・調整を経て、既存のルートへの影響を勘案した上で、対応が可能と判断されれば、見直しを行っています。 喜入地域では、1~2年ごとにルートを変更しています。皆さまからの要望については、関係部局にも伝えたいと思いますが、やはりあいバスは利用していただく人が多ければ多いほど、その価値が高まります。ぜひそういう観点からご提案を頂ければと思います。	企画財政局	市長回答のとおり

「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時:平成27年9月3日(月)18:00~19:00
場所:教育総合センター

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
3	鴨池校区成人学級 男性	④ 鴨池校区では、6,000世帯に無料コミュニティ新聞を発行するなど、人と人がふれあいまちづくりを進めている。旧鴨池空港跡に、ニシムタができた。ニシムタさんは、地域活動にも協力的だが、商品を運ぶ搬入車両が、真砂本町公園の近くを毎日30台以上行き来し、子どもが大変危険である。地域で見回り活動などしているが、フェンスをつけるなど、安全対策をお願いしたい。	④ 鴨池空港跡地にニシムタさんができて、地域が活性化した反面、真砂本町公園の安全対策が必要になったということです。まずは、状況を把握して、フェンスがいいのか、道路整備がいいのか、どうした安全対策が一番いいのか検討してみたいと思います。	建設局	真砂本町公園周辺においては、スーパーの開店に伴う搬送車両の往来が多くなっていることから、公園内からの飛出しやフェンス乗越えに対する注意看板を園内に設置いたします。また、周辺の学校等関係機関に対しても必要に応じて指導をお願いしていきたいと考えております。
		⑤ 国体が鹿児島で行われるが、校区内、あるいは近隣に新たな体育施設ができる予定があるのか伺いたい。	⑤ 現在、県が国体準備委員会をつくり、どの競技を、各市町村の、どの施設で使用するかを検討しています。一時期は新しい施設をつくるという話もありましたが、国体については、既存施設で対応するというのが、今の県の考え方です。そういった意味では、鴨池校区の辺りに、新たな施設ができるというのは、今の段階では難しいと思います。	教育委員会	市長回答のとおり
		⑥ 鴨池校区では、市電の延伸に大変興味があり、勉強会も開催している。鴨池校区に市電延伸の構想はあるのか、伺いたい。	⑥ 私の3期目のマニフェストで、本港区の観光路線という市電延伸の考え方を示していますが、県の土地に関する利用方針が白紙ということですので、今後、県との協議を進めていかなければならないと考えています。 それ以外の路線の延伸については、以前、鹿児島市の中に、市電延伸の検討委員会というのがありまして、谷山地域、鴨池地域について検討を行いました。その時点では、それぞれ延伸しないということで結論を出しています。 路面電車は環境にやさしい公共交通機関である一方で、交通局が財政再建団体になった時には、伊敷線を廃線にすることもございました。現在、電車事業は黒字、バス事業は赤字、総体的には交通局は毎年赤字という経営状況が続いています。そうした様々な状況を踏まえながら、市電の運行については、今後どのような形がいいのか考えていかなければならないと思いますが、今の段階では、鴨池校区の延伸については、構想というはございません。	企画財政局	市長回答のとおり

「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時:平成27年9月3日(月)18:00~19:00
場所:教育総合センター

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
4	ほこらしやの風 男性	⑦ ほこらしやの風では、鹿児島市を拠点に奄美の良さを発信する団体だが、食と健康の研究もしており、鹿児島のお茶や黒砂糖と健康の関係等を研究している。また、体の健康も大切だが、心の健康も大切だと考えている。島唄は、美しい調べがあり、結の心や思いやり、絆を感じさせるもので、島唄を通じて、生きる喜びを伝えることができると思う。 大島紬は、現在低迷しているが、外国からの観光客等には着物文化に対するニーズがあり、東京では外国人に着物を貸すサービスがあると聞いているが、鹿児島でも、外国観光客向けに本場大島紬をぜひ活用してほしい。	⑦ 食と健康や、心の健康、色々なことに取り組んでおられる法人の活動についてご紹介いただきました。本市においても、そういう取組を進めていますが、様々な事業に取り組んでいるということに、心から敬意を表したいと思います。 本場大島紬は素晴らしい伝統工芸品であり、鹿児島市もそのPRIに取り組んでいます。大島紬については、色々と支援もしており、本市が物産と観光展をする際にも、大島紬の関係の皆さまにもご出展いただいています。	健康福祉局 経済局	【健康福祉局】 市長回答のとおり 【経済局】 外国人観光客については、直近の観光統計で宿泊観光客数が過去最高となるなど、多くの方が本市を訪れています。 それらの方々へのおもてなしとして、民間団体等による着物の着付などの体験メニューがあることから、その中で活用できないか伝えてまいります。 これまで一部の業者において海外の展示会等への参加はあったものの、業界全体としては国内向けのPRが中心で、外国人観光客への対応が遅れている面もあるので、今後、外国人観光客向けのPR活動についても、組合と協議してみたいと思います。
5	きいれニコニコ若者クラブ 男性	⑧ きいれニコニコ若者クラブでは、医療、介護、福祉等専門員による無料講座や、無料レスパイトサービス(一時預かりサービス)を介護老人福祉施設で行っているほか、公民館等でも開催しています。現在、そうしたネットワークが広がりつつあり、こうした取組をさらに進め、広げていくために、市の各種広報紙で我々の活動の広報支援をお願いできないか。 また、月1回、地域でミーティングを行っているのですが、可能であれば、その席に市職員もご参加いただきたい。そうすることで、お互いの知っている地域の方々のニーズを共有したり、意見交換ができるのではないかと考えている。今後は、これまでの枠にとらわれない取組が必要で、医療から福祉、福祉から在宅にフォーカスした取組を進めていきたいと思っている。	⑧ 皆さんが地域に根差した活動をしていただいていることについて心から敬意を表したいと思います。皆さまの活動については、市としての取組の一端を担っているようなものであり、地域にとっては心強い活動だと思います。 そうした活動を、市民のひろばや、公民館だより等市の情報媒体で紹介できないかということですが、市民のひろばについては、全市的な情報を載せており、紙面に限りがありますので難しい面もあると思いますが、公民館だよりについては、担当課にご相談いただければと思います。	総務局 教育委員会 健康福祉局	【総務局】 市長回答のとおり 【教育委員会】 公民館だよりについては、紙面に限りがありますので、掲載内容を相談いただいたうえで、検討させていただきます。基本的には市の共催又は後援を受けた活動や委託を受けた事業、研修会等が掲載の対象となります。 【健康福祉局】 健康総務課では、市民への健康に関する情報紙「健康ニュース」を年3回発行しています。鹿児島市健康づくり推進市民会議の情報紙となっていますので、会員にご登録いただければ、イベント等の情報について「健康ニュース」を通じた広報も可能になるかと思えます。 本市では、地域包括支援センターが設置・開催する地域ケア会議や多職種連携会議において、高齢者のニーズの共有を図っているいます。 また、今年度から、多様な主体による多様なサービスの提供体制を構築するため、関係者の情報共有や連携強化の場として「介護予防・生活支援サービス事業者協議会」を設置・開催することとしています。

「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時:平成27年9月3日(月)18:00~19:00
場所:教育総合センター

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
6	ほこらしやの風 女性	⑨ ほこらしやの風では、10月に島唄の祭典を開催する予定である。島唄の文化を発信したいと思っているので、協力をお願いしたい。	⑨ 大変有意義なイベントを開催されていることに心から敬意を表したいと思います。本市でも、毎年、音楽とあかりと伝統芸能のイベント「音とあかりの散歩道」を開催しています。この中では、吹奏楽や島唄、ゴスペル、地域伝統芸能等の発表の機会がございますので、ぜひご参加いただければと思います。 他にも、本市では、心の健康とか文化的香りの高い郷土芸能にふれるための各種イベントも開催しており、市民のひろばで色々と公募もしていますので、ぜひご参加いただければ、と思います。	市民局	NPO法人の活動につきましては、団体からの申し出がございましたら、市のホームページや市民協働課公式フェイスブックでも紹介しておりますほか、本庁にNPO法人のパンフレットを置くスペースも設けていますので、ぜひご活用ください。
7	鴨池校区成人学級 男性	⑩ コアラ会という活動を20年近くしており、今年は鴨池小の子ども達がオーストラリアに行った。来年はオーストラリアの方が鹿児島に来る予定である。市の観光部署に行って、もらった英語版と日本語版の世界遺産のパンフレットをオーストラリアの方に見せたところ、世界遺産をぜひ見たいと言っていた。	⑩ コアラ会の活動は、大変な活動だと心から感謝しています。世界遺産については、県・市と一体になって環境整備を進めていますほか、国も支援してくれていますので、多くの方々に来ていただけるように、今後もしっかり取り組んでいきたいと考えています。	企画財政局	市長回答のとおり (補足) 4か国語対応のまち歩きマップ、ガイドブックを作成しています。
		⑪ 真砂地区では、希望の会という団体で、独居老人のサポートをしている。その際、よく真砂福祉館を利用するが、高齢者が多いので、2階が利用しづらい。エレベータとまではいかないが、スロープか何かで対応できないだろうか。	⑪ 高齢者の方々に励まそうという取組をしていることについても敬意を表したいと思います。高齢者の方々が真砂福祉館を利用しづらいという状況については、払しょくしていかなければいけないと思います。エレベーターとまではいかないと思いますが、現場も見させていただき、検討したいと思います。	健康福祉局	【地域福祉課】 地域福祉館には可搬型の階段昇降機を整備しており、事前に利用者からの申し出があったときは、利用する館に配置しています。 現在、館内にチラシを掲示するなど周知を図っていますが、現物を一定期間展示するなど、より利用しやすくなるような周知広報を図っていきます。

「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時:平成27年9月3日(月)18:00~19:00
場所:教育総合センター

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
8	鹿児島県生きがいきづくりアドバイザー協議会 男性	⑫ 健康と生きがいをつくるためには、個人個人も大切だが、社会全体で生きがいを持ってということも大事だと思う。今考えているのは、昔、稲荷神社でやっていた流鏝馬を、鹿児島で復活させたいということである。ただ、馬はコンクリートでは走れないので、流鏝馬をするには土の道路が必要ということである。高山で聞いてみると、流鏝馬をする道路は半分以上がコンクリートで半分が土、ということである。私は本気なので、実行委員会をつくってもいいと思っている。燃えている。ぜひ検討してほしい。	⑫ その気概が健康につながり、長寿にもつながるんだと思います。現在、上町地域では鹿児島駅を中心に色々な整備を進めております。流鏝馬をするには、整備した道路を逆に土に戻す必要があるなど、難しい課題があります。資料もしっかり見させていたいただきたいと思います。	教育委員会	戦前まで続いておりました稲荷神社の流鏝馬は、三國名勝図会でも紹介されており、伝統芸能として復活がなされれば、文化財保護の観点から意義あるものと考えます。 伝統芸能につきましては、所有者や管理者である保存会等で運営されるべきものと考えており、活動に対する補助制度を設けているところです。
9	きれニコニコ若者クラブ 男性	⑬ 喜入地域から鹿児島市内へのバスの運行は、鹿児島交通が2時間に1本走だけである。何とか、市営バスも走らせられないだろうか。	⑬ 喜入地域にも市営バスの運行してほしい、ということですが、実現はなかなか大変だと思います。現在、鹿児島交通が走っているということですが、市営バスも一つの企業体ですので、経営の運営上、大きな赤字が出る路線に新たに入るというのは難しいと思います。市内のバス会社6社でつくるバス協会の中でも、そういった話があるということ、話題で出すということではあると思いますが、実現はなかなか難しいのではないかと思います。	交通局	喜入地域から鹿児島市内への市営バス路線新設につきましては、限りある人員及び機材で運行しているなかで、需要や採算性、運行効率及びJRや民営バスの運行状況などから、難しい面があると考えます。
10	ほこらしやの風 女性	⑭ 母を10年間介護しており、現在、母は要介護5の状態である。24時間介護が必要であり、全てのサービスをヘルパーさんに使いたいが、車いすの利用等他のサービスにも利用する必要もあり、そうもできない。すると、ヘルパーさんの利用が限られ、1日に利用できる時間が短くなり、曜日によって時間帯が違うという状況になる。このような状況では仕事も探せず、生活が苦しい状態が続いており、将来のことも考えられない。介護をしている人の就労支援策についても、検討してほしい。	⑭ 介護する人、介護される人が大変な状況というのは存じ上げています。できるだけ、そうならないように対応できればと思いますし、鹿児島市の介護保険計画も進めているところですが、市だけで対応できる問題でもありません。 介護に対する取組みというのは、まずは国の政策で決めるもので、それぞれの自治体でも、そのサービスに応じた保険料を決めることとなります。できるだけ多くの施設をつくり、介護される人を入所するという方法もありますが、そうすると保険料が高くなってしまいます。そういうバランスを取り方が大変難しいです。 市独自で解決できる問題ではないので、国、県とも協力しながら、対策を進めなければならないと思いますし、国には、常に要望をしています。また、要介護が低い人と高い人を分けた対応というの進めていかなければならないと思います。	健康福祉局 経済局	【健康福祉局・経済局】 介護する方、される方のサポートにつきましては、市長が答えていますとおり、国、県とも協力しながら、対策を進めていくべき課題だと認識しています。 また、就労支援については、今年4月から生活困窮者自立支援制度が始まり、本市でも生活自立支援センターを設置し、ハローワーク等と連携して、相談支援を行っています。 その他、市民の方が気軽に労働などに関する相談ができるよう雇用相談室を設置し、求職・労働に関する相談や無料の職業紹介を行っています。電話での相談にも応じていますので、ぜひご利用ください。(電話 216-1329)

「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時:平成27年9月3日(月)18:00~19:00
場所:教育総合センター

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
11	きいれニコニコ若者クラブ 女性	<p>⑮ 喜入地域は道が狭く、電柱も多く、あいばすを自由に走らせることができない道路状況なので、小さい車両を導入する等改善策はないか。 また、あいばすをつくる時の会議に参加したこともあるが、車を運転できる人とできない人では意見が違ふ。車を運転できない人の意見は、運転できる人に比べ切実であるので、もっと尊重してほしい。</p>	<p>⑮ あいばすについては、みなさんの要望を聞きながら、ルート変更もしています。あいバスは地域の利便性を図るため走らせていますが、実際には、地域によって利用率に差があるようです。利用率が低いということは、ルートが活用されていないということです。みなさん方の意見を踏まえて、ルート変更を検討してみたいと思います。</p>	企画財政局	<p>喜入地域あいばすについては、運行事業者において専用車両を導入の上、平成20年度から運行を開始しており、これまで逐次ルート等の見直しを行いながら、年々、利用者が増加してきています。 今後とも利用者からの要望に基づいて、利便性向上の観点からルート等の見直しを行っていきます。</p>
		<p>⑯ 喜入から鹿児島市内の区間は、鹿児島交通が2時間に1本しか走っておらず、高齢者が病院に行こうと思うと本当に大変である。大雨が降り、JRが停まってしまうと、バスは満杯になり、高齢者も障害者も立って乗らざるを得ない状況もある。普段の乗車ぜひ、増便を検討してほしい。</p>	<p>⑯ JRが運行停止になった時のバス運行については、一義的には、JR九州さんが責任をもって対応すべきものではないかと思ひます。 また、鹿児島交通が2時間に1本しか走らないということですが、利用者が多いという実態があるのであれば、このことについては、バス協会を通じて、話もしたいと思ひます。</p>	企画財政局	<p>鹿児島交通に利用状況を確認した上で、増便要請があったことをお伝えします。</p>